

新型コロナウイルスの感染拡大予防のための緊急事態宣言により不要不急の外出を避け、人との接触を可能な限り自粛しなければならない現在の状況は、目に見えないウイルスへの恐怖さらには感染への不安から逃れるための心理的なメカニズムにより他者に対して攻撃的な言動にいたるようすが世界的な現象としてみられます。本来、戦う相手はウイルスであるにもかかわらず、感染に苦しむ人たちを命がけで支え、治療に専念し、尽力している医療従事者の方々やそのご家族、感染者の方々やそのご家族への心無いことばをはじめとして、他者を非難し、排除しようとする残念な行動が発生しています。また、デマを含む様々な情報に一層不安感を募らせる人もいます。

今、大切にしてほしいことは、知りえた情報を冷静に分析し、判断する意識です。感染を予防し、この厳しい状況を乗り越えるためにも、批判的な考え方陷入ことなく正確な知識と理解を深めてほしいと思います。感染を予防するため、ソーシャル・ディスタンス、もしくはフィジカル・ディスタンスとも呼ばれる人ととの距離についての行動が必要とされる中で、今こそ、心の距離感が不可欠です。

本来人間は、唯一ことばを発することで、相手との距離感をはかりながら仲間意識を醸成する「ウォーカルグルーミング」により社会生活を営みます。ですから、ことばの持つ影響力はとても大きく、ことばによる心の傷ははかり知れません。ウイルスを制圧し、歴史的な危機を克服するためにも、相手も自分も大切にするコミュニケーションはとても大切です。

不要・不急の外出を控えている生徒のみなさんの中には、LINEなどを通じたやりとりをしている人も多いと思います。LINEなどの文字による辛辣な表現やことばも相手に与える影響は大変なものとなります。休業期間中にLINE等で辛い思いをする人がいないことを祈ります。学校の再開について、今はまだ不透明ですが、感染拡大防止のため、登校日には必ずマスクを着用し、大きな声での会話は、控えていただくことになります。そこで、これからのみなさんには「ノンバーバル・コミュニケーション」を大切にしてほしいと思います。これは、発声による会話ではなく、表情による会話です。

感性豊かなみなさん一人ひとりの笑顔がソーシャル・ディスタンスによる物理的な距離を超える、心の距離感を縮め、仲間意識を育むことができると考えています。生徒のみなさんの笑顔と人を大切に思いやる心で、学校が最も安心できる居場所となれば幸いです。

※「いじめについて考える日」の延期に伴い、先日、ホームページに掲載した内容に修正を加え、再掲させていただきました。